

GLORY

トップインタビュー

「『2014中期経営計画』を着実に
実行するとともに、海外事業の
統合を推し進めてまいります。」

Page 01

Contents

トップインタビュー	01
国内製品トピックス	05
海外トピックス	06
セグメント別の状況	07
財務データ	09
会社情報	10
株主メモ	

GLORY REPORT

グ ロー リー レ ポー ト

第 67 期
報 告 書

平成24年4月 1 日から
平成25年3月31日まで

グローリー株式会社



『2014中期経営計画』を 着実に実行するとともに、 海外事業の統合を推し進めて まいります。

Top Interview

Question 1

平成25年3月期の事業概況と業績について
お聞かせください。

【買収による海外事業の拡大と、国内市場
の深掘りを進めたことにより、増収増益】

当期の日本経済は、個人消費の停滞や、欧州における
債務問題の長期化により、世界経済の減速が懸念さ
れ、先行き不透明な状況で推移いたしました。本年
に入ってから、政権交代による金融緩和政策への期
待から、円安基調への転換や株価回復など景気回復
の兆しが見え始めました。

代表取締役社長

尾上 広和

このような状況のなか、当社グループは、『2014中期経営計画』の初年度として諸施策を展開した結果、当期の連結業績は、売上高、利益とも大幅に増加しました。セグメント別にみますと、国内につきましては、各市場で精力的な営業活動や市場の深掘りを進めるなどした結果、前期を上回る販売となりました。金融市場では、主要製品である「オープン出納システム」の販売は、従来タイプは更新需要の谷間にあり低調であったものの、コンパクトタイプは堅調でした。また、流通・交通市場では、主要製品である「レジつり銭機」の販売は、未導入市場への展開が進みましたが、大口需要があった前期に比べて減少しました。遊技市場では、パチンコ

ホールの効率化ニーズが継続し、「カードシステム」等の販売が堅調でした。

一方、海外につきましては、各地域の販売が順調であったことに加え、平成24年7月に、英国の子会社である Glory Global Solutions Ltd.を通して貨幣処理機の製造・販売会社である英国 Talaris Topco Limited(現「Glory Global Solutions (Topco) Ltd.」)。以下、「タラリス社」)を買収し、当第2四半期より同社及びその子会社の売上が上乗せされたことにより、売上が大幅に増加いたしました。

Question 2

『2014中期経営計画』の進捗状況について教えてください。

【3つの基本戦略を着実に実行】

当期は計画の初年度として、「事業戦略」「機能戦略」「企業戦略」の3つの基本戦略を強力に推進してまいりました。

「事業戦略」では、国内の金融市場において、「オープン出納システム」の販売拡大に向け、未導入のお客さまに

平成25年3月期の実績と平成26年3月期の業績予想(連結)

()内数値は、前期比

	平成24年3月期(前期)	平成25年3月期(当期)	平成26年3月期(予想)
売上高	1,469億37百万円	1,909億38百万円(+29.9%)	2,000億円
営業利益	112億74百万円	144億58百万円(+28.2%)	160億円
経常利益	119億 8百万円	136億95百万円(+15.0%)	150億円
当期純利益	62億46百万円	68億73百万円(+10.0%)	85億円

2014中期経営計画



MEDIUM-TERM MANAGEMENT PLAN

基本方針

- 長期ビジョン達成に向けた成長戦略推進と収益力強化
- 営業利益率10%以上(平成27年3月期)

基本戦略

事業戦略	機能戦略	企業戦略
● 国内事業戦略 ● 海外事業戦略 ● 新事業戦略	● 製品開発戦略 ● 生産・調達戦略 ● 品質保証戦略	● グループ体制戦略 ● 人事戦略 ● 資本・財務戦略

対する提案営業を強化しており、コンパクトタイプの販売が拡大しています。また、流通・交通市場においては、「レジつり銭機」を専門店や外食チェーンに対して積極的に提案し、新規受注の獲得につながっております。一方、海外においては、顧客ニーズに合わせた地域別戦略を展開しております。例えば、欧米の金融機関向けに仕様の異なる3タイプの「窓口用紙幣入出金機」を投入し、販売が伸びています。また、中国の金融機関に対しては、偽札排除に対する需要に合わせて卓上タイプの「紙幣整理機」を展開し、大口受注を獲得しております。「機能戦略」では、グローバル市場に通用するコスト競争力の強化に向け、開発・生産部門が連携して、コストダウンを推進しております。また、今後は、タラリス製品

を含めた海外市場向け製品のラインナップ見直しを行うとともに開発テーマの統一を行い、開発効率の改善にも取り組んでまいります。

「企業戦略」では、CSR活動の一層の推進に向け、CSRの観点から理念体系の見直しを行いました。当社にとってのCSR活動とは、「企業理念」、「経営理念」の実現であり、その実現に向けて事業活動を行うことが、社会への責任を果たすことにつながると考えております。今後は、社員一人ひとりがCSRを意識して事業活動に取り組み、持続的な企業成長を図ってまいります。

なお、『長期ビジョン2018』につきましては、タラリス社の買収等を勘案して本年5月に改定し、業績目標を連結売上高2,600億円としました。新たな目標に向け、

まずは『2014中期経営計画』を達成するべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。

Question 3

タラリス社がグローリーグループに加わりました。
現在の状況について教えてください。

【シナジー創出に向け、 統合計画を着実に実行中】

当社は、昨年7月のタラリス社買収を受け、統合委員会やプロジェクトチームを発足させ、両社の海外事業の統合に向け取り組んでおります。引き続き、開発、生産、

企業理念

私たちは「求める心とみんなの力」を結集し、
セキュア(安心・確実)な社会の発展に貢献します

経営理念

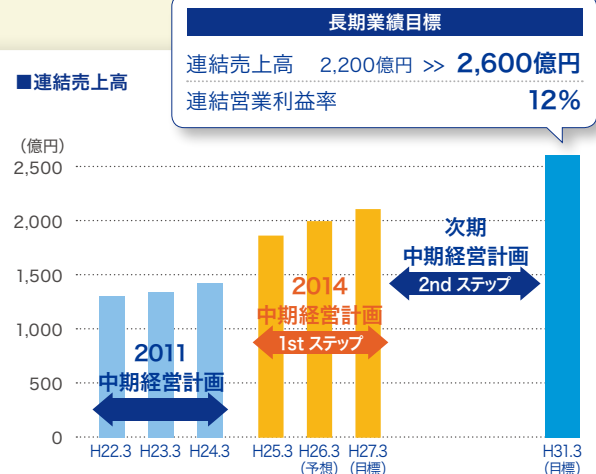
- 絶えざる開発の心で、お客様から信頼される製品とサービスを提供します
- 個性の尊重とチームワークにより、活力ある企業グループをつくります
- 良き企業市民として行動し、社会との共存・共生に努めます

長期ビジョン2018

長期基本方針

「モノづくり」の技術で新たな価値を創造し、夢へ挑戦する

CSR活動を通じて、社会とともに
継続的な企業成長を図る





販売等の各機能における統合を推し進め、シナジーの早期創出に向け注力してまいります。

また、現在、海外現地法人の事業再編を行っております。さらに、タラリス各社の商号を「GLORY」を冠したものに変更するとともに「Talaris」ブランドにつきましても「GLORY」ブランドへの統一を進めております。今後は、“One GLORY”をスローガンにグループの一体感を高めるとともに、ブランド力の強化と浸透を図り、海外における事業競争力を高めてまいります。

Question 4

平成26年3月期の業績見通しについて教えてください。

【国内では市場の深掘りを継続、海外では新興国を中心に拡販】

次期の日本経済につきましては、円安傾向や株価回復等を背景に、景気は緩やかに回復すると思われます。こうしたなか、当社は、国内市場では、引き続き各市場の深掘りと未開拓市場への精力的な営業活動に注力してまいります。さらに、新製品の投入やソリューションの提供を積極的に行うことで、収益の拡大を図ります。一方、海外市場では、タラリス社買収により拡大した販売・メンテナンス網を活用するとともに、地域別戦略を展開してまいります。なかでも、アジアや中南米の新興国では、経済の発展とともに通貨処理機への需要拡大が予想されますので、顧客ニーズを着実に捉え、さらなる事業拡大を図ります。また、欧州では、依然景気の先行きが不安定な状況が続くと思われますが、ソリューション営業の強化により、新たな需要の獲得につなげてまいります。

これらにより、平成26年3月期の連結業績は、売上高2,000億円、営業利益160億円、経常利益150億円、当期純利益85億円を目指してまいります。

Question 5

最後に、株主のみなさまに、配当方針の説明とメッセージをお願いします。

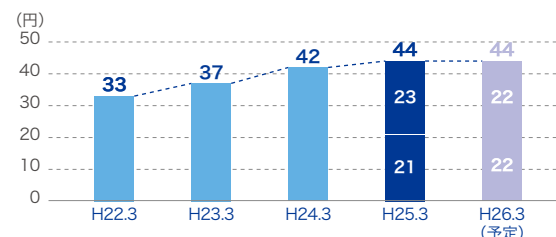
【当期の配当は、1株あたり44円】

当社は、連結自己資本配当率1.8%を下限として、連結配当性向25%以上を目標とした配当を実施することとしており、当期の期末配当は、期初予想の21円に2円を加え、1株あたり23円とさせていただきます。これにより、中間配当21円を加えた年間配当は、前期比2円増の44円となりました。

次期の配当につきましては、現在の方針を継続し、1株につき44円（中間配当金22円、期末配当金22円）とさせていただきます予定です。

株主のみなさまにおかれましては、今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■1株当たり年間配当金



重要物の管理はこれ1台で。

金庫に代わる新スタイル 新製品 重要物管理機〈BK-200シリーズ〉

金融機関の店舗では、通帳や証書、カード等の“重要物”は金庫室等で保管されています。持ち出す際は管理者である役席者の確認が必要ですが、役席者が金庫室等に同行、授受簿に記録し、営業終了後には記録と照合する必要があるなど多くの手間がかかり、運用上の課題がありました。こうした業務課題に応えるべく、当社は、本製品を開発。厳正で効率的な管理スタイルを実現しました。

BK-200 シリーズの特長

1 IDカードと顔画像 で操作履歴を管理

使用者認証機能に加え、「いつ、誰が、何を取り出したのか(返却したのか)」といった操作履歴を記録し、営業終了後の確認作業も効率化。付属のカメラで顔画像も記録でき、役席者に代わって重要物の持出しを管理します。



操作履歴の画面

2 事務スペースに 設置できる コンパクトサイズ

担当者の近くに設置することで金庫室等へ出入りする回数が減り、作業導線が短縮されます。

〈BK-200〉



事務スペース

金庫室

ここにあります！

【重要物持ち出し時の作業導線】

→ 〈BK-200シリーズ〉導入後の導線
→ 従来の導線

金融機関窓口の セキュリティを確保。 窓口用紙幣入出金機の 販売が好調。

海外の金融機関では、防犯上の観点から窓口とロビーとの間は強化ガラスで仕切られており、テラー（窓口の接客担当者）と顧客の間には距離感がありました。しかし、近年は仕切りを取り払い、顧客とのより密接なコミュニケーションを図る傾向が高まり、新たなセキュリティ対策として「窓口用紙幣入出金機」を導入する店舗が増えています。

当社の「窓口用紙幣入出金機〈RBGシリーズ〉」は、セキュリティの確保はもちろん、業務の厳正・効率化も実現する製品として、販売を拡大しております。



導入前 強化ガラス越しの接客



導入後

強化ガラスがなく、顧客との
コミュニケーションを取りやすい

RBGシリーズ の特長

〈RBG-100〉

主な販売先：米国



業界最速の入金計数
スピード(10枚/秒)

紙幣の記番号の
記録機能を搭載

いつ、どの紙幣が入り
出りを記録します。

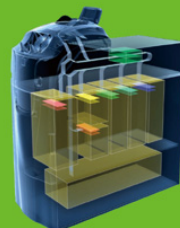


紙幣記番号

在高を自動精査

紙幣を取り出すことなく在高を確認
でき、計数の手間を削減します。

業界最多
の収納量
(約17,000枚)



〈RBG-200〉

主な販売先：欧州、南米



複数国の通貨を管理可能

様々なサイズの紙幣を管理できる
「テープ巻き取り方式」を採用。さら
に、紙幣の記番号を記録すること
で、1つの収納ボックスに複数の金
種を収納し、業界最多の128金種
を取り扱うことができます。



複数金種を
巻きつけて収納

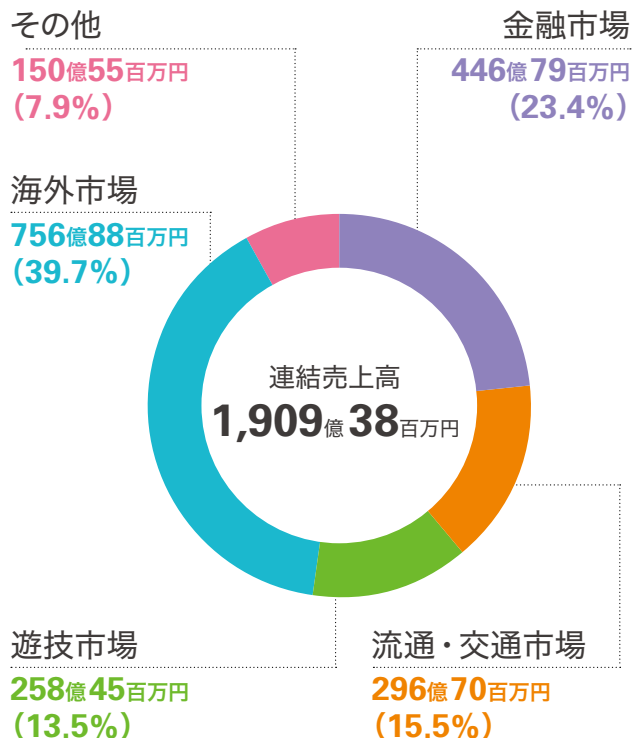


reddot design award
winner 2013

レッド・ドットデザイン賞を受賞

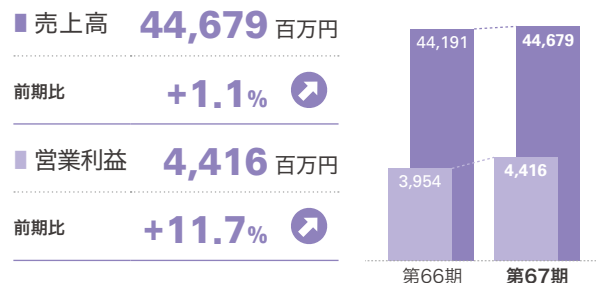
ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセン
ター主催の世界的に権威のあるデザイン賞。革新性、
機能性、品質等、9つの基準に基づき選定されます。

セグメント別の状況



* ()内数値は構成比

金融市場



主な販売先

国内の金融機関、日本郵政、OEM先

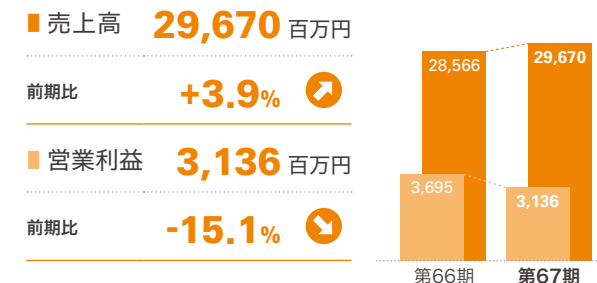
「窓口用紙幣・硬貨入出金機」や
「多能式紙幣両替機」の販売が順調

主要製品であるオープン出納システムの販売は、従来タイプが低調であったものの、中小規模店舗向けのコンパクトタイプが堅調でありました。また、窓口用紙幣・硬貨入出金機や多能式紙幣両替機の販売は、更新需要を捉え順調であり、市場全体としては前期並みの販売でありました。

窓口用紙幣・
硬貨入出金機
〈RB-500〉

入金した紙幣や硬貨を出金に利用するリサイクル機能を搭載。銀行など金融機関の店舗の窓口で、テラー(窓口担当者)が現金の入出金に使用します。

流通・交通市場



主な販売先

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社

「売上金入金機」の販売が好調

警備輸送市場向け売上金入金機の販売は好調でありましたが、主要製品であるレジつり銭機の販売は大口需要の減少により低調であり、市場全体としては前期並みの販売でありました。

売上金入金機
〈DSS-300〉

スーパーマーケットやショッピングセンター等のバックオフィスで売上金を集中管理。限られたスペースにも設置できるコンパクトサイズです。

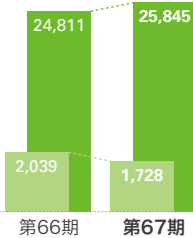
遊技市場

■ 売上高 **25,845** 百万円

前期比 **+4.2%** 

■ 営業利益 **1,728** 百万円

前期比 **-15.3%** 



主な販売先

国内の遊技場（パチンコホール等）

「カードシステム」の販売が堅調

主要製品であるカードシステム等の販売は堅調であったものの、会員管理システムの販売は低調であり、市場全体としては前期並みの販売でありました。

G8 EX-SIM

PAPIMO対応
台間高額メダル貸機
〈JMM-201〉



液晶タッチパネルを搭載した新型の台間メダル貸機。画面に表示されたボタンをタッチして簡単に操作できます。

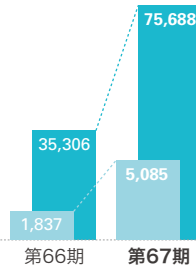
海外市場

■ 売上高 **75,688** 百万円

前期比 **+114.4%** 

■ 営業利益 **5,085** 百万円

前期比 **+176.7%** 



主な販売先

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先

タラリス社の買収効果により、販売が大幅に増加

紙幣整理機や新製品である窓口用紙幣入出金機が好調に推移するとともに、タラリス社の買収効果により、販売は大幅に増加いたしました。

紙幣整理機
〈UWH-1000〉



紙幣の分類や計数はもちろん、帯封まで1台で行う紙幣整理機の最上位機種。金融機関の現金処理センターを中心に導入が進んでいます。

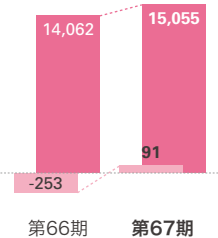
その他

■ 売上高 **15,055** 百万円

前期比 **+7.1%** 

■ 営業利益 **91** 百万円

前期は営業損失 **253百万円** 



主な販売先

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、民間企業

投票用紙分類機
〈GTS-1000〉

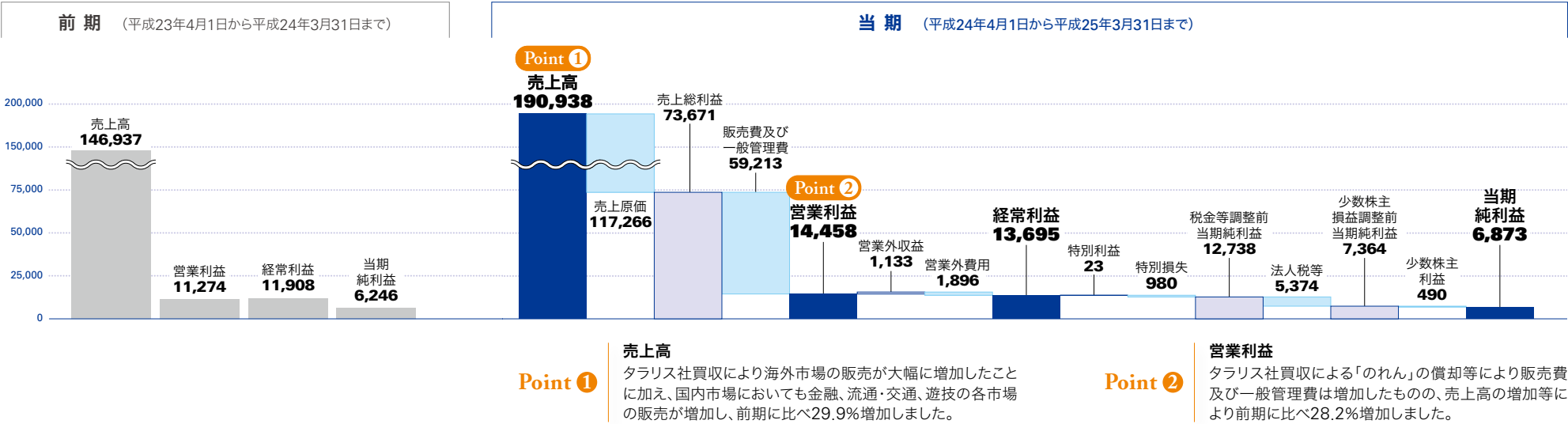


投票用紙を高速で読み取り、候補者ごとに自動で分類・計数する投票用紙分類機。投票用紙の表裏反転／天地揃え、両面の他事記載*チェックなど業界初となる機能を備え、開票作業の省人化とスピードアップに貢献します。また、スタックを最大64段まで増設できるため、候補者の多い参議院議員選挙などで威力を発揮します。

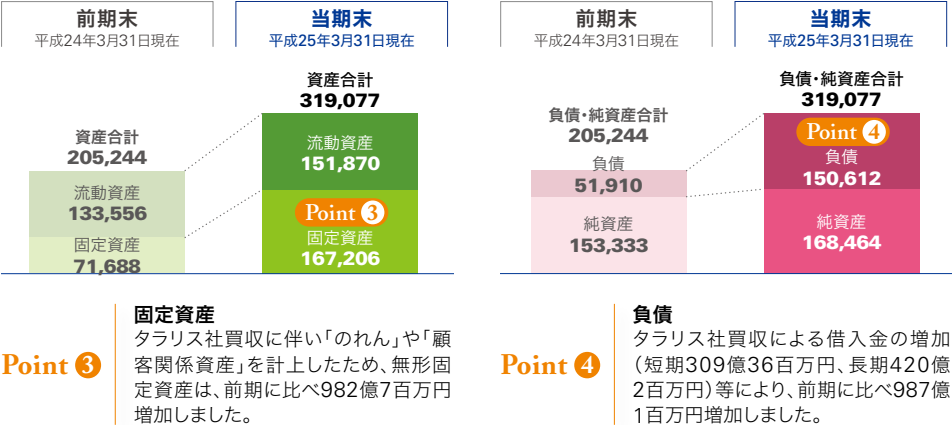
*投票用紙に候補者名前以外の事項が記載されると無効票となります。

財務データ

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



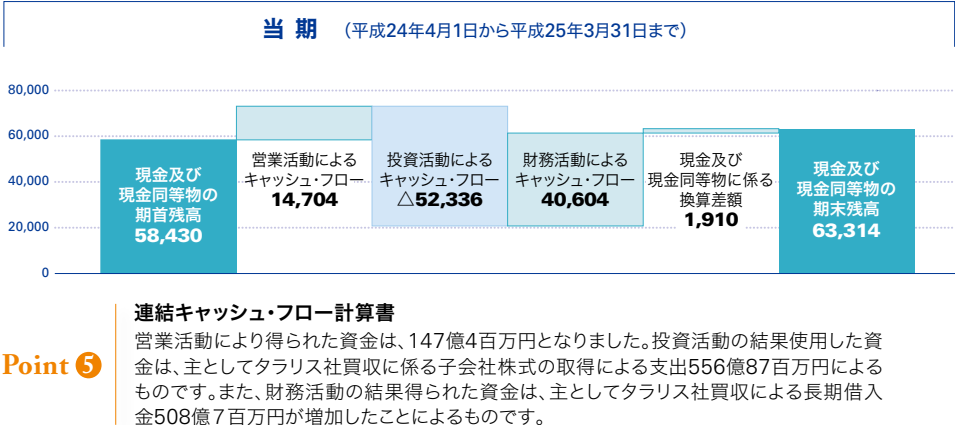
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



Point 3

Point 4

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 Point 5 (単位: 百万円)



Point 5

会社概要		
商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.	
設立	昭和19年(1944年)11月27日	
資本金	12,892,947,600円	
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp	
従業員数	3,412名(連結 7,903名)（平成25年3月31日現在）	
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL：079-297-3131(代表)	

取締役及び監査役

取締役				監査役			
代表取締役会長	西	野	秀人	常勤監査役	中	塚	良幸
代表取締役社長	尾	上	広和	常勤監査役	大	谷	俊彦
取締役相談役	尾	上	壽男	社外監査役	竹	田	佑一
取締役	山	口	義行	社外監査役	中	上	幹雄
取締役	三	和	元純				
取締役	吉	岡	徹				
社外取締役	佐	々	木宏機				
社外取締役	新	島	昭				

事業所及びグループ会社		
事業所	本社・本社工場（兵庫県姫路市）	支店等
	東京本部（東京都千代田区）	7支店：東北支店（宮城県）、東日本支店（埼玉県）、
	品川事業所（東京都品川区）	首都圏支店（東京都）、東海支店（愛知県）、
	埼玉工場（埼玉県加須市）	近畿支店（大阪府）、中四国支店（広島県）、
		九州支店（福岡県）
		姫路物流センター・姫路パーツセンター
		41営業所・27出張所・4サービスセンター

グループ会社 グループ総数 55社（国内 13社 海外 42社）（平成25年5月10日現在）

株式の状況（平成25年3月31日現在）

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数 68,638,210株(自己株式 2,950,749株を含む)

株主数 7,363名(前期末比 515名減)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	5,114	7.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,996	5.8
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,998	2.9
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,995	2.9
グローリーグループ社員持株会	1,863	2.7
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
グローリー取引先持株会	1,209	1.8
全国共済農業協同組合連合会	893	1.3

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,950,749株があります。

所有者別株式分布状況

発行済株式総数 68,638,210株

所有者別	比率
政府・地方公共団体	0.2%
金融機関	34.6%
金融商品取引業者	0.6%
その他の法人	7.7%
外国法人等	30.5%
個人・その他	26.4%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場取引所	東京、大阪
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.glory.co.jp

株主名簿管理人／ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
〔各種お問合せ先／ 郵便物送付先〕	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL：0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9：00～17：00(土、日、祝祭日、年末年始を除く) http://www.tr.mufig.jp/daikou/
〔ホームページアドレス〕	http://www.glory.co.jp

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。

グローリーIRメール 配信のご案内

当社は、ニュースリリースやウェブサイト更新のお知らせなど、株主のみなさまに役立つ情報をEメールでタイムリーに配信しております。当社ウェブサイトの「株主・投資家の皆さまへ」ページより、是非ご登録ください。

グローリー公式ウェブサイト「株主・投資家の皆さまへ」ページ



IRメール配信のご登録はこちらから

 <http://www.glory.co.jp/ir/>



地球環境保護のためにFSC認証紙と大豆油インキを使用しています。